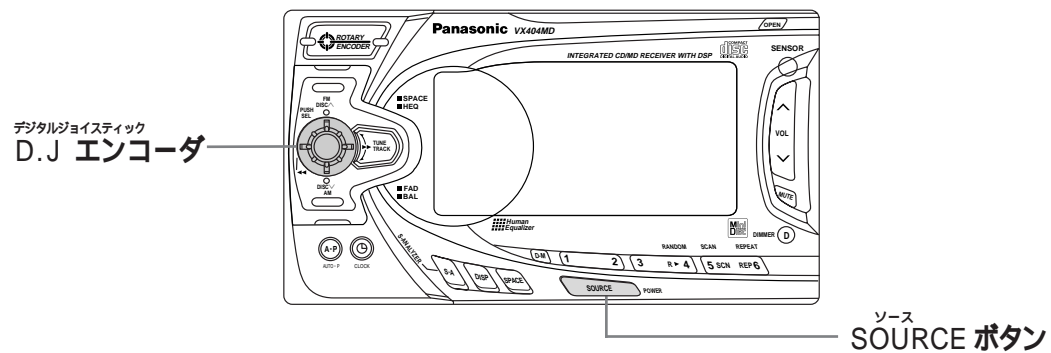


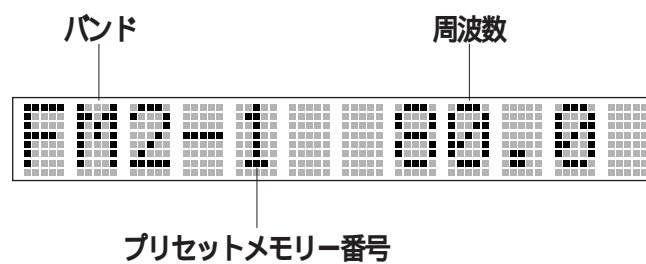
# ラジオを聴く



## ラジオ (TUNER) の通常表示

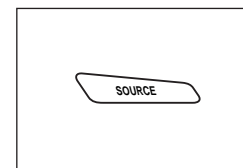
使いかた

ラジオ



## サウンドソースをラジオ (TUNER) にする

SOURCE ボタンを押して、“TUNER” に切り替える。  
ラジオを受信します。

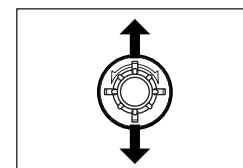


## バンドを選ぶ

D.J エンコーダーを上下に倒す。

- 倒すごとに、次のように切り替わります。
- FMステレオ放送を受信すると、STEREO インジケーターが点灯します。

↑ (FM): FMバンドが切り替わる。 FM1 FM2  
↓ (AM): AMバンドが切り替わる。 AM1 AM2

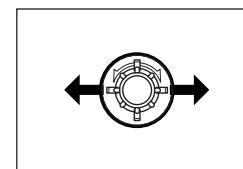


## 放送局を選ぶ

### 手動選局 (順送り)

D.J エンコーダーを左右に倒して、TUNE < または TUNE > を押す。

- ← (TUNE < ): 周波数が、順送りで下がる。
- (TUNE > ): 周波数が、順送りで上がる。



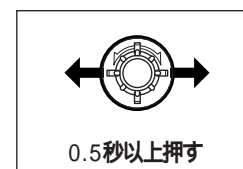
### お知らせ

### 自動選局 (シーク)

D.J エンコーダーを左右に倒して、TUNE < または TUNE > を0.5秒以上押す。

- ← (TUNE < ): 周波数が、早送りで下がる。
- (TUNE > ): 周波数が、早送りで上がる。

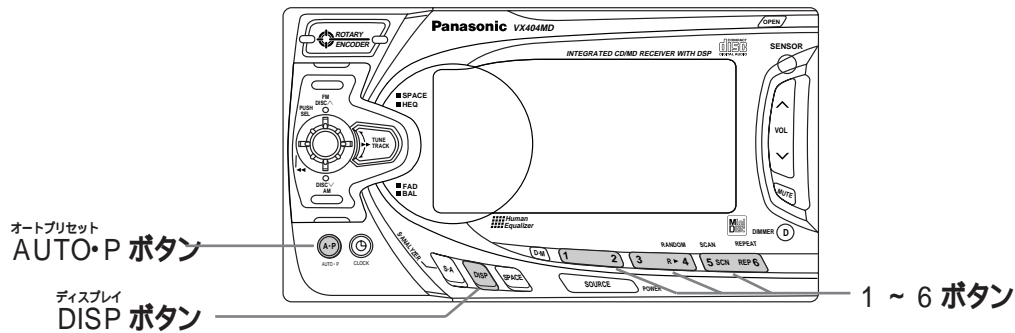
ボタンをはなした時点でシークを始め、放送局があるところで止まります。



使  
い  
か  
た

ラ  
ジ  
オ

# ラジオを聴く(つづき)



## 放送局をメモリーする

### 手動メモリー（プリセットメモリー）

現在受信している放送局を、手動で1～6ボタンにメモリーすることができます。（バンドごとに6局まで可能）

操作パネルの1～6ボタンの何れか一つを、2秒以上押す。

- 現在受信している放送局が、押したボタンにメモリーされます。
- メモリーが完了すると、周波数表示が点滅します。

例)



2秒以上押す

### 自動メモリー（オートプリセットメモリー）

現在受信しているバンド内で受信状態のよい放送局を一番下の周波数から自動的に探し、受信状態の良い順に1～6ボタンにメモリーさせることができます。（バンドごとに6局まで可能）

① AUTO・P ボタンを押して、放送局をメモリーさせる。

- 現在のバンド内でシークを始め、1～6ボタンに放送局を最大6局まで自動的にメモリーします。
- メモリーが終わると、メモリーされた放送局を約5秒ずつ次々にスキャンします。



② 操作パネルの1～6ボタンの何れか一つを押して、聴きたい放送局を選ぶ。

スキャンが解除され、選んだ放送局を受信します。

例)



## メモリーした放送局を呼び出す

### プリセット受信

プリセットメモリーやオートプリセットメモリーした放送局を、ボタン1つの操作で呼び出すことができます。

操作パネルの1～6ボタンの何れか一つを押す。

現在のバンドでメモリーされている放送局を呼び出して、受信します。

例)



### お知らせ

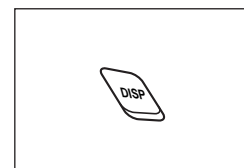
プリセットメモリーやオートプリセットメモリーをすると前にメモリーされていた放送局が消去され、新しい放送局を上書きします。

## 表示を切り替える

DISP ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、文字表示部が次のように切り替わります。

- ▶ 通常表示 (バンド・プリセット番号・周波数)
- └─ ドットスペアナ表示



使  
い  
か  
た

ラ  
ジ  
オ